

無形文化遺産に関わる音声・画像・映像資料のデジタル化 (③無03-14-4/5)

目 的

無形文化遺産部が所蔵する音声・画像・映像資料のデジタル化。第1期中期計画（17年度終了）の事業案策定後に購入・寄贈されたアナログ資料を中心に、これまでに収集蓄積してきた分野を補完する資料の媒体転換を重点的に実施する。併せて、デジタル化を済ませた音声資料は、インデックス付与を含む整理を推進する。この事業は、将来的には資料のデータベース公開と音声・画像等の配信を目指すものである。

成 果

1. 旧芸能部所蔵資料のうち、『歌舞伎新聞』創刊号（昭和28.12）から253号（昭和49.12）までのデジタル化を完了した。
2. 映像資料については、16ミリ（カラー）3本の媒体変換を行い、HDCAM 3本を作成した。
3. 音声記録のデジタル化は、インデックス付与済みCDを21枚作成した。
4. カセットテープに関しては、旧芸能部所蔵テープの内、寺事の現地録音を中心に内容確認を行った。
5. 無形文化遺産関連の映像資料205枚（作成DVD82枚・作成BD123枚）を所蔵資料として新たに登録した。

研究組織

○飯島満、高桑いづみ、久保田裕道、菊池理予、今石みぎわ、佐野真規、橋本かおる（以上、無形文化遺産部）